

8

次は、【詩】とその詩についての【感想の交流の一部】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【詩】

祖母

三好達治

祖母は蛍をかきあつめて

桃の実のように合せた掌あわての中から

沢山な蛍をくれるのだ

祖母は月光をかきあつめて

桃の実のように合せた掌あわての中から

沢山な月光をくれるのだ

【感想の交流の一部】

木村

この詩に出てくる祖母は、優しい感じがするね。

石川

そうだね。「沢山な」、「くれるのだ」という表現から、孫を思う優しさが伝わってくるね。木村さんは、どの表現から優しいと感じたのかな。

木村

「桃の実のように合せた掌」という比喻を用いた表現から、大事に包み込むようにしてそつと孫に渡す様子が伝わってきて、優しいと感じたよ。

一 【詩】について説明したものとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 第一連と第二連とでは敬語の使い方が全く同じなので、人物の相互関係が捉えやすい。
- 2 第一連と第二連とでは文末の表現の仕方が異なるので、時間が経過していることが明確になる。
- 3 第一連と第二連とでは使っている言葉がほぼ同じなので、異なっている言葉の印象が強く伝わる。
- 4 第一連と第二連とでは行数が異なるので、音読したときのリズムの違いがきわ立つ。

二 木村さんと石川さんの交流の様子について説明したものとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 二人は同じ表現に着目し、祖母の人物像についても同じ見方をしている。
- 2 二人は異なる表現に着目し、祖母の人物像についても異なる見方をしている。
- 3 二人は同じ表現に着目しているが、祖母の人物像については異なる見方をしている。
- 4 二人は異なる表現に着目しているが、祖母の人物像については同じ見方をしている。